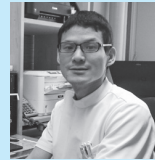


# 広報たのみ診療所

朝日診療所  
 所長 若山 隆



## 「新しい予約制度が始まります！」

4月から朝日診療所に勤務する医師が2名となりました。これまで診療を行っていた若山と森が引き続き診療所に残って勤務を続けます。その2名の医師で、入院患者の治療をしたり、訪問診療に行ったり、高齢者施設の管理業務などを行わなければならないので、これまでより外来の予約がしにくくなったり、外来の待ち時間が増えてしまうこともあると思います。なんとか皆様のご不便を減らすために、朝日診療所では今年から新しい予約制度を始めました。これまででは予約をとるときは、診察時間と一緒に診察する医師も指定していました。今年度も医師の指定のある予約は存続するのですが、新たに医師の指定のない予約を設けました。医師を指定して予約してしまうと、その医師が忙しい場合に待ち時間が非常に長くなってしまいます。

診察できる医師が臨機応変に対応することで、なるべく

皆様をお待たせしないようにと新しい予約制度を開始いたしました。

外来予定表を下に載せておきます。大変ありがたいことに、今年度は他の医療機関からお手伝いに来てくれる医師が増えました。南会津病院や会津医療センター、坂下厚生病院などから月曜から金曜日まで応援に駆けつけてくれる医師が見つかったということは、大変心強いことです。

朝日診療所は少しでも町民の皆様にとって良い診療所であるために新しい挑戦を続けてまいりますので、今後ともどうかよろしく願いいたします。

### 外来予定表(随時変更があります)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	◎森 冬人 若山 隆 森園健太郎 (第2・4週)	◎若山 隆 森 冬人 星 英行	◎森 冬人 若山 隆	◎若山 隆 橋山保典 (第1・3・5週) 平野 雅 (第2・4週)	若山 隆 森 冬人 佐竹 賢仰
午後	◎若山 隆 森園健太郎 (第2・4週)	森 冬人 星 英行	森 冬人 ◎橋山保典 (第1・3・5週) 平野 雅 (第2・4週)	森 冬人 ◎橋山保典 (第1・3・5週) 平野 雅 (第2・4週)	若山 隆 佐竹 賢仰
夕方外来	—	若山 隆	—	—	—

# 地域おこし協力隊として 只見町山村振興協力隊

vol.64 藤沼 航平



## 「3年の生活と9年の関わり」

私が協力隊として只見町に赴任してから、早3年が過ぎようとしています。ここに3年間の活動と只見での生活を振り返り、今後の活動方針をまとめたいと思います。思い返せば、私が只見町(特に布沢・坂田地区)と関わりを持ち始めたのは9年ほど前。大学の授業の一環として布沢地区での活動をさせていただきました。卒業後も地域おこしサークルD-friendsとして学生とともに4年間(学生時代から通算6年間)宇都宮から通い、次第に、この町に住み地域おこしを職業にしたいと考えるようになりました。そんな折に協力隊の募集を発見し、この町に移住することを決意しました。その時点であまり思い悩むこともなく、布沢集落へ飛び込めたのもそれまでの活動を通して、区民の皆様と面識があり、多少なり関係性を築けていたからだと思います。

さて、実際に3年間取り組んだ活動ですが、第一に「森林の分校ふざわ」の運営の継続と営業方法の模索。第二に情報発信システムの構築。第三に恵みの森や集落散策、山村のくらしの体験活動やガイドの企画・実施などなど。

今まで只見町に通った6年間と住んでみての3年間

で大きく変わった点は、2つ。

- ・布沢地区以外の只見町の方々に関わる機会がかなり増えたこと(観光や商工に関わる職業人、森林ガイドの皆様、生活用品や食品を扱う店舗の方々、明和青年団など)。

- ・(それに付随して)ここに住む方々の自然や町に対しての各人の価値観や考え方に触れられたこと。

この2点を経て、任期満了後も町に残ることを決意しました。任期後は、そのまま「森林の分校ふざわ」で活動を続けてまいります。活動を続けるうえで大切にしたいことは、「只見町に深く関われる外部の人口を増やす」ということ。ただ観光で訪れるのではなく、ただ協力隊として働くのではなく、この町の広く深い部分に関われただけ、町への想いは強くなります。それが移住につながらなくても、人と町の関係性が深まればいい。私自身が実感し、体験できたからこそ決意できる今後の私のポジションでありたいと思っています。

最後に、この3年間および9年間に関わりを持たずすべての方々に感謝を記し、まとめさせていただきます。